ルックルック！

NEWS
R4.10月号

「大成古墳群展望所から望む日本海」

大成古墳群は６世紀末から７世紀初めにかけての１３基の横穴式石室墳からなる古墳群で、京丹後市指定文化財に指定されています。

立岩を見下ろす高台にあり、併設された展望所は日本海を一望できる絶景スポットです。
海と空の青のコントラストが感じられる素晴らしい絶景スポットです。
天気の良い日に是非訪れてみてくださいね！

←丹後市民局ルックルックNEWSのバックナンバーはこちら

丹後町の人口

	R4.9月末	前月比
0-14歳	404	△1
15-64歳	2,194	1
65歳-	2,122	△7
計	4,720	△7

丹後町内の元気やおめでたい情報をお届けする

Tango 元気 news

まるっぽ間人プロジェクト推進協議会

間人地区では令和３年度に「まるっぽ間人プロジェクト推進協議会」を立ち上げ、同志社大学と連携し、新たな地方移住の仕組みづくりに取り組んでいます。

令和４年度は港まち間人のソウルフード「沖ギス」の活用をテーマに、料理教室の開催や、ウォークラリーの中で試作中の沖ギスをパンに挟んだ「沖ギスバーガー」の試食会を開催しました。

（ウォークラリーの詳細は裏面tango地域newsをご覧ください。）

引き続き、間人地区の「賑わいづくり」に取り組みます。なお、Facebookでまるっぽ間人プロジェクト推進協議会の活動情報を発信していますので、フォロー、いいね！をお願いします。

福山（ふくやま）　渉（わたる）さん（天風）を講師に招き、間人のソウルフード「沖ギス」料理研究会を開催

丹後市民局職員が丹後町を応援する人や魅力的な場所を紹介するコーナー

丹後町な場所♨

「神明山古墳（しんめいやまこふん）からの景色」

古墳時代前期後半（4世紀後半）の前方後円墳で墳丘長190m、後円部129m、網野銚子山古墳に次ぐ日本海側最大級の前方後円墳です。国指定史跡。丹後一帯を支配した豪族の墓と推測され、出土品は近隣にある「古代の里資料館」に展示されています。

竹野神社の脇にある小道を約250m歩くと神明山古墳の前方部につきます。そこからの眺望はすばらしく、立岩を望むことができます。

掲載団体や話題、表紙の写真を大募集！

スポーツ、サークル活動など、皆さんに広く知ってほしいニュースがある団体や個人を募集します。また、表紙の写真を募集します。掲載を希望される方は、丹後市民局までご連絡をお願いします。
【連絡先】京丹後市市長公室丹後市民局（℡0772-69-0714）
※誌面の都合上、全ての希望に沿うことはできません。ご了承ください。

龍谷大学今里ゼミ×宇川マルシェ運営委員会「宇川金曜市ちょっと催し」

9月23日（金）が秋分の日で祝日のため、「宇川金曜市」を運営する宇川マルシェ運営委員会（委員長：小林）と龍谷大学政策学部今里ゼミがコラボした「宇川金曜市ちょっと催し」を宇川アクティブライフハウスで開催しました。

祝日開催ということもあり、宇川わくわく教室でオンラインによりパソコンの画面越しに交流している宇川地域の子ども達と今里ゼミ生が、実際に会って交流するために企画したドッジボールや鬼ごっこに、多くの子ども達が参加し、楽しんでいました。

また、今回の金曜市では、今里ゼミより新商品「梅ジャム」のお披露目と、デマンドバスを活用した金曜市の送迎が試験的に実施されました。

きれいに並べられたお惣菜

鬼ごっこを楽しむ宇川地域の子ども達と今里ゼミ生

【新商品「梅ジャム」の販売開始】

龍谷大学今里ゼミのジビエカレーに次ぐ新商品として宇川でとれた梅をふんだんに使用した「梅ジャム」のお披露目がありました。味は甘酸っぱい味と甘い味の2種類あります。

宇川でとれた梅を使用した「梅ジャム」

【デマンドバス送迎を試験的に実施】

令和3年度に今里ゼミが行った宇川地域の買い物調査の結果、公共交通が不便な地域である宇川地域における買い物支援対策の必要性が認められ、買い物支援対策として宇川地区が取り組む宇川金曜市の継続や今後の展開について今里ゼミより政策提案がありました。

今回の宇川金曜市では、提案された政策の中から、デマンドバスを活用した宇川金曜市への送迎をNPO法人「気張る！ふるさと丹後町」の協力を得て、試験的に実施しました。デマンドバスの利用には事前予約が必要ですが、今回の試験運用では、事前予約を不要とし宇川全体を周回する運行ルートを設定し、利用状況を調査しましたが、利用者が少なく、また運営方法に課題が見つかる結果となりました。

デマンドバス送迎を試験的に実施

丹後町内の地域の動きやトピックスをお届けする
Tango 地域 news

丹後町公民館連絡協議会主催「いちがお登山」

登頂後の依遅ヶ尾山山頂

10月16日（日）に丹後町公民館連絡協議会主催で「いちがお登山」を行いました。関西百名山の一つに数えられる「依遅ヶ尾山」は標高540mで、登山口広場から山頂まで約1時間の道のりです。

当日は天候にも恵まれ、参加者の中には山頂からの景色を楽しみながら昼食を食べる人もいらっしゃいました。

依遅ヶ尾山山頂からの景色

依遅ヶ尾山登山道
山頂まで約1時間の道のりです。

まるっぽ間人プロジェクト推進協議会×同志社大学 間人八景をめぐる！「まるっぽ間人ウォークラリー2022」

参加者は間人区が運動会で使うはちまき、スタッフは祭で使用するはっぴを着用

10月22日（土）にまるっぽ間人プロジェクト推進協議会と同志社大学（同志社大学プロジェクト科目「京丹後移住促進プロジェクト～新たな地方移住の仕組みづくり～」）がコラボし、間人の名所8か所を巡る「まるっぽ間人ウォークラリー」を開催しました。

令和3年度より協議会と同志社大学が取り組んでいる新たな地方移住の仕組みづくりの一環として、まずは住んでいる人が間人の魅力を知って伝えていけるよう、住んでいるからこそなかなか歩かない場所を巡り、地域を再発見することをテーマに「トビのくちばし（間人みなと公園）」、「松本重太郎ギャラリー」、丹後ちりめん織元（相政株式会社）など間人の名所8か所（間人八景）を巡りました。

ゴールの間人漁港でウォークラリー参加者に、まるっぽ間人プロジェクトで試作中の「沖ギスバーガー」や唐揚げ、つみれ汁の試食をお願いしたところ、バーガーに挟む具材としてキスの姿揚げは骨があるので、つみれフライの方が食べやすく、おいしかったなど、今後の商品開発の参考となる貴重な意見をいただきました。

キスのからあげ

沖ギス料理試食会

まるっぽ間人プロジェクトで試作中の「沖ギスバーガー」

沖ギス料理３品の試食会
（バーガー、からあげ、つみれ汁）